

いのち・とき・なかま

豊中五中
学校だより
H29(2017)年
1/30 発行

1年 喫煙・薬物乱用 防止教室

1年生は、1月24日(火)豊中市の保健所から講師の方を招き、「タバコの怖さと健康の大切さ」というテーマでお話を聞きました。DVDを使って、タバコの危険性、身体への影響、病気の可能性が高まること等を学び、〇×クイズなどもありました。

成長過程にある中学生がタバコを吸うのはもちろん法律で禁止されていますし、身体に与える悪影響も大人よりずっと大きいです。興味本位で手をだすことは、ブレーキがきかず、他の問題にもつながってしまいます。自分だけでなく周りの人を巻き込むこととなります。周りの人の事を考えることも必要ですね。

27日(金)には、豊中市サポートセンターの方に来ていただき、薬物(覚せい剤や大麻、シンナー等)や危険ドラッグについて学びました。幻覚を見て屋上から飛び降りてしまった例や暴れた事例等、犯罪や事件につながることや、心身をむしばみ、命まで奪ってしまうこと、依存性が高く、やめられないで中毒になる事など、薬物の怖さを知ることができました。



2年 進路学習・豊中四中夜間学級について



2年生は、2学期に職業体験を行って、働くことの意味や苦勞、喜びなどについて学習しましたが、3学期は、これから自分の進路を考えていくステップの一つとして、「学ぶことの意味」を改めて考えていきます。また具体的に「高校」について、どんな種類があるのか、どのようにして決めていくかなども考え始めています。

「中学校の夜間学級」についての学習と交流では、DVDを使って事前学習し、27日(金)には実際に豊中市立第四中学校夜間学級の先生(以前五中にいた釣巻先生)に来ていただき、お話を伺いました。スライドや作文を使って、行事や授業の様子、校歌、生徒さんの思い等を紹介されました。

夜間中学校は全国にわずか31校しかありません。戦争など色々な事情で学習できなかった人や、外国から来て日本で生活されている方(現在はネパール、ペルーなど9カ国)が学んでいます。9年間夜間学級で学び、68歳で卒業して定時制高校で学んでいる生徒さんもいます。

日本語を学ぶことが大変難しい（例えば「生」という漢字は何通りにも読める）中で、一生懸命覚えようと努力していることや、生徒さんの作文が紹介されました。

「子どもが持って帰る提出物の文字が書けず、子どもが自分で書いて学校に出したら怒られてつらかった。」「大人になってはじめて勉強机を買って、勉強することがとても楽しい」「食堂で注文するのはうどん（ひらがな）、電車の切符を買う時は、いつも終点までを買っていた。文字が読めるようになって、目の前が明るくなった」「夜間中学校で人間関係を学んだ」等々、文字通り、『学ぶことができる大切さ・喜び』について、知ることができました。

もうすぐ3年になる64期生に、釣巻先生から「生きていくための力、本当の力をつけてほしい」と激励していただきました。今後、代表者が四中夜間を訪問して交流する予定です。

3年 学年末テスト・私立出願・面接練習

3年生は、他学年より早く1月24日～26日に学年末テストがありました。私立高校を受ける人は受験校が決まり、志願書を清書。関係書類をそろえて学年の先生方でしっかり確認した上で、26日（木）には学校ごとに出願（実際に高校へ志願書を出すこと）に行きました。往復の交通機関や道路、所要時間を確認できましたか？預かった受験票を大切にしましょう。

面接に備えた練習も行なっています。入室から応答、退室まで、本番を意識してやっていますが、緊張しながらも、一生懸命受け答えをしていました。進路を見据えて、みんな一生懸命学習しています。厳しい寒さが続いています、健康に留意して、はげましあっていきましょう。



PTA 学級委員会全体会

PTA 学級委員会全体会が開かれました。親睦会の運営等、1年間大変お世話になりました。活動しての感想では、「友だちが増えた、学校の様子がわかってよかった、楽しかった、いろんな方に経験して欲しい」などの意見がありました。ありがとうございました。その後、卒業式で3年が胸につける手作りコーサージュを袋につめる作業をしました。

